

各位

Medicinova, Inc.  
 代表取締役社長兼 CEO  
 岩城 裕一  
 (コード番号: 4875 東証 JASDAQ)  
 問合わせ先 東京事務所代表 副社長  
 岡島 正恒  
 電話番号 03-3519-5010  
 E-mail [info@medicinova.com](mailto:info@medicinova.com)

### 平成 25 年 12 月期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2014年3月27日 米国 ラ・ホイヤ発 - メディシノバ (MediciNova, Inc.) (米国カリフォルニア州 ラ・ホイヤ、代表取締役社長兼 CEO: 岩城裕一) は、当社の最近の業績の動向等を踏まえ、2013年3月29日(金)に発表いたしました連結業績予想と実績値との差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

#### 1. 平成 25 年 12 月期通期連結業績予想値との差異(平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

(金額の単位: 米ドル (千円))

	営業収益	営業利益	税引前当期純利益	当社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり当社 株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想 (A)	650,000 (66,261)	△9,921,000 (△1,011,346)	△9,921,000 (△1,011,346)	△9,921,000 (△1,011,346)	△0.57 米ドル (△58 円)
今回実績値 (B)	6,003,257 (611,972)	△4,020,540 (△409,853)	△4,024,493 (△410,256)	△4,028,528 (△410,668)	△0.19 米ドル (△19 円)
増減額(B-A)	5,353,257 (545,711)	5,900,460 (601,492)	5,896,507 (601,089)	5,892,472 (600,678)	
増減率(%)	823.6%	- (59.5%の 赤字幅縮小)	- (59.4%の 赤字幅縮小)	- (59.4%の 赤字幅縮小)	
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 12 月期)	802,580 (81,815)	△10,945,356 (△1,115,769)	△10,950,170 (△1,116,260)	△10,961,314 (△1,117,396)	△0.66 米ドル (△67 円)

(注)括弧内に表示されている金額(千円、ただし1株当たり金額については、円)は、便宜上、2014年2月28日現在の三菱東京UFJ銀行の対顧客電信直物売買相場の仲値1米ドル=101.94円で換算された金額であります。また、当社は米国会計基準を採用している米国企業であり、連結財務諸表の作成において個別業績の概要を開示しておりません。

#### 2. 差異の理由

営業収益として計上を予定しておりました中国における合弁会社とのMN-221のライセンス契約締結に伴う契約一時金を、当初、65万米ドル見込んでおりましたが、2013年中にライセンス契約が締結されなかったため、65万米ドルのマイナス要因となりました。また、2014年1月14日プレスリリースで開示済の、2014年1月10日に受領したジェンザイム社からのマイルストーン6百万米ドルに関しましては、受領したタイミングにより2014年12月期営業収益に計上する予定でしたが、監査法人との協議の結果、2013年中に支払が確定していたため2013年12月期決

算に計上することとなり、6百万米ドルのプラス要因となりました。上記のプラス、マイナスの要因を主たる理由として、営業収益、営業利益及び当期純利益に上の表に示した内容の差異が生じました。

以上

メディシノバ (Medicinova, Inc.) は様々な疾患領域の新規医薬品の導入・開発・販売に特化する製薬企業です。弊社詳細につきましては <http://www.medicinova.jp> をご覧下さい。メディシノバの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州ラ・ホイヤ、スイート 650、エグゼクティブ・スクエア 4275 (電話 1-858-373-1500) です。

このプレスリリースには、1995年米国民事証券訴訟改革法 (The Private Securities Litigation Reform Act of 1995) に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、製品候補の治療法としての新規性および効能を実証する臨床治験に関する記述、既存または将来の臨床治験の計画や目的および製品開発に関する計画または目的に関する記述などが含まれます。このような記述には、臨床治験の結果、現段階の臨床治験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではないこと、将来の臨床治験のタイミング、費用、計画など、臨床治験、製品開発および商品化に付随するリスクや不確定要素、FDA に対して書類を提出するタイミング、当社の戦略の失敗、第三者との提携構築、イブジラストに関する開発プログラムを統合することにより期待される戦略的、財務的メリットを実現する可能性、イブジラストに関する開発プログラムを進めるための戦略的提携交渉、または、資金調達の可能性、知的財産権や契約上の権利を初めとして、当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスクや不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつかの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものであります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまり、実際の結果または成り行きは、必ずしも予想通りにはならない可能性があることにご留意下さい。また当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。